

「水防災意識社会 再構築ビジョン」土器川の減災に係る取組 ～住民タイムライン作成のための第4回ワークショップの実施～

11月23日(水・祝日)に、丸亀市内において、**モデル地区住民(地域コミュニティ役員、自主防災組織等)**、香川県防災士会、丸亀市(危機管理課、建設課)、香川大学等の約30名が参加し、「**第4回ワークショップ**」を開催しました。

今回のワークショップでは、「**大規模水害時の住民の防災行動シミュレーション～いつ、誰が(自助・共助・公助)、何をするか～**」をテーマとして、**3つのテーブル**に分かれ、検討を行いました。

本年度の**地域住民参加型ワークショップ**では、土器川が氾濫することを前提に、地域(住民、コミュニティ役員、自主防災組織等)が防災情報等をもとに時間軸に沿って、どのように行動するのかを整理した**住民タイムライン(地域住民等の防災行動計画)**を作成します。

地域住民参加型ワークショップは、**平成27年度から実施**(H27年度:3回開催)しており、**本年度**は、今回と1月の**2回の開催**を予定しています。

ワークショップでは、**水防災意識社会の再構築**を目指して、今後の自助(住民)・共助(地域コミュニティ)・公助(行政)それぞれの取り組み内容や課題等を抽出し、**住民目線での水害に強いまちづくり**に繋げていきます。

○今後の予定:平成29年1月15日(日) 第5回ワークショップ開催



ファシリテーター(香川大学)による説明



避難所・緊急活動内容の確認



大規模水害時の防災行動の検討



テーブル発表